

令和7年度 勤務実態改善計画 杵築市立宗近中学校

【勤務実態】

- ① 学校に対する社会のニーズが拡大し、校務が複雑化・細分化する中で、個人の分掌量の平準化が難しくなっている。
- ② 細かな配慮を要する業務が日常化し、ストレスサーとなっている。
- ③ 詳細なエビデンスを求められる業務の増加に伴い、事務作業が増大している。
- ④ 学校規模縮小に伴う、人的資源の不足。
- ⑤ 急速なICT導入のための研修等、未知の状況の対応が求められる。

見直し・改善の視点

- ☆ 業務量の根本的な見直しと削減
 - ・重複する業務の洗い出しと統合及びスクラップ
 - ・日常業務の大胆な変更・削減
- ☆ 優先順位・軽重緩急が意識されたメリハリの効いた職場の創造
- ☆ 部活動改革に向けた準備と外部指導者の発掘・実働

【タイムマネジメントの実行】

- 最終退勤時刻の設定
19:00
- ノー残業デーの実施
第4水曜日は5:30
他の水曜日は6:00目標
- 校内安全衛生委員会の毎月開催
と労働時間の把握・分析
- 保護者への啓発

【休暇が取れる校内体制づくり】

- 同僚性の発揮
- 先を見通した計画立案
- 自習に耐えうる課題の準備
 - ・ICTの積極的活用
- 年休取得の義務化（校内）
 - ・学期に複数日、活力を生み出すための年休取得を計画・実施
- 振休の完全消化を強く指導

メンタルヘルスの向上

- 職員間のコミュニケーション活発化
- ストレス診断システムの活用
- ラインケアの強化

【校務分掌の改善】

- 部活動を外部指導者へ委託
- 前例踏襲の打破
 - 分業化と単純化の推進
 - 大胆な変更や業務削減の推進
- 完全外部委託業務の拡大
- 電子データの蓄積と利用
- 保護者対応の分業化
- 支援員等のスタッフの有効活用

【教育課程の見直し】

- 3年間を見通した行事の創造
(学年セクトの排除)
- 外部人材活用事業の整理
- 年間指導計画の改善
 - *しながら改善(朱筆)
- スクラップすべき取組の洗い出しと整理縮小

勤務実態改善計画（働き方改革）推進について

杵築中学校 校長 小野誠司

I. 実際の取り組み

1. 安全衛生委員会について

* _____部は新たな取組

(1) 月間勤務時間の振り返り

- ・超勤時間の縮減を目的 → 平均超勤時間の減少が徐々に進行中

(2) 業務削減案

- ・教科部会を平日分散開催し、水曜日の開催は2ヶ月に1回（実施中）
- ・年間授業時数の適正化→臨時5時間授業設定を増設中

2. 外部関係者への業務依頼

(1) 職場体験学習の受け入れ事業所等のセッティングの自動化に向けて

- ・学校運営協議会のメンバー（JC 関係者等）と協議中。

(2) ICT サポーターの市内小中学校定期巡回訪問（市教委事業）

- ・各種機器の設定や、日常の疑問が定期的に解消
- ・全国学力調査（理科 CBT）の際は非常に助かった。

3. ICT機器の利用方法の改善

(1) 「すぐーる（保護者連絡アプリ）」の有効活用（双方向連絡）

- ・欠席連絡と日課表連絡、配布文書、提出文書、アンケート等の回収・集約の削減

(2) PC内フォルダー構成の改善の実施（実施）

(3) ペーパーレス会議（継続）…PC・タブレット等の利用

(4) タブレット端末の有効活用による評価業務等の負担軽減（改善）

- ・ロイロノートの利用で、成果物提出・集約が容易に。一部、評価も容易になった。

4. 部活指導の改善

(1) 部活動指導員配置増（市教委事業）、外部コーチの発掘・依頼→地域クラブ化支援

- ・期末整理期間等の部活動時間の短縮。（取り組み中）
- ・今後も部活動改革に向け、文化部を含む全ての部活動に外部指導者を配置したい。

II. 今後の課題

1. 部活動改革について

(1) 地域クラブ化

生徒の地域クラブ（陸上競技）への加入が増加中。他校とも連携し、取組が進行中。

(2) 平日部活動に対する意識改革

教員・生徒・保護者ともに、週3日の練習日で十分という意識改革も必要か。

2. 専門部署・専門員の導入

保護者のクレームや愚痴などを専門に扱う部署の設置もあってよいのでは。とりわけ、再雇用教員の出番になるのでは。

令和7年度 勤務実態改善計画

杵築市立山香中学校

I ねらい

教職員の心身両面にわたる健康の保持及び校務効率化の向上、また、教職員一人ひとりが仕事と生活の調和を図りながら、健康的・意欲的に職務に取り組んだり、生徒と向き合う時間を確保したりすることができるよう職場環境を整える。

II 心身ともに健康で、意欲的に職務に取り組むことができるための取り組み

1. 残業時間の短縮

- ① ノー残業デーの確認（水曜日は17:30までに退庁する）
- ② 平日は、スクールバス出発後、45分以内の退庁を心がける（夏時間：19:00、冬時間：18:15）
- ③ 勤務超過時間の把握（出退勤システムの活用）、声かけの励行（管理職）

2. 年休等の行使の推進とサポート体制の充実

- ① 年休取得の際の日課表調整と互いの協力により、休暇を取りやすい職場づくりに努める
- ② 「休暇ハンドブック」を活用した休暇制度の周知及び取得推進の声かけ（管理職）
- ③ 子育て・介護・看護などに関する休暇取得の推進とサポート体制の確立

3. 業務の見直し

- ① 分掌による仕事量の偏りを検証し、バランスを考慮して主任等を決定する
- ② 会議・研修・行事の精選、行事前における短縮校時期間や1時間削減の推進
- ③ 運営委員会、職員会議などの会議の定例化、意思決定の円滑化と効率化を図る
- ④ 学校運営協議会（地域学校協働活動推進委員）や地域人材の積極的な活用
- ⑤ SC、SSW、スクールサポートスタッフ等の専門スタッフとの積極的な連携
- ⑥ 分掌主任やプロジェクト主任との連携及び積極的な支援（管理職）
- ⑦ 中学校問題データベースやタブレットドリルの活用、校務支援システム（Te-Comp@ss）や欠席連絡アプリ（すぐる）、校内ネットワーク（ミライム）の活用による効率化とペーパーレスの推進
- ⑧ 業務引継を意識したデータ保存、共有フォルダとファイルの整理

4. 部活動の指導体制の見直し

- ① 週あたり2日以上（平日1日以上、週末1日以上）の休養日を設ける
- ② 部活動の顧問は、全て複数指導体制にする
- ③ 部活動指導員や外部コーチの配置に努め、専門的・技術的な指導の協力を得る
- ④ 杵築市教育委員会と連携し、学校部活動の地域移行を推進する

5. 心身の健康増進の取り組み

- ① 定期健康診断の全員受診及び必要な場合は速やかに精密検査を受診するよう勧奨する
- ② ストレスチェック（年2回）の全員受検（職員会議時に一斉に行う）
- ② 山香中学校労働安全衛生委員会の開催
- ③ 教職員からの改善提案の奨励

楽しく（気持ちよく）働き、楽しい学びを提供するために……